

ENEOS の国内の再生可能エネルギーによる水素製造・供給

国内でも九州、東北、北海道などのエリアでは、豊富な再エネ資源が存在します。そのような地域では、再エネ資源を生かしながら、水素を組み合わせた地産地消型エネルギー供給事業を検証しています。その際、VPP（ヴァーチャルパワープラント）技術と、水素ステーション等に設置した水電解装置を融合させた「水素版 VPP」が弊社の独自性を発揮できる基本モデルになる可能性があります。

従来の VPP システムの中に、VPP リソースとして水電解装置を加えることで、電力エネルギーをよりダイナミックに調整することができ、より多くの不安定な再エネ電源が電力系統に接続できるようになるため、国内の再生可能エネルギー導入を促進することに貢献できます。

今後、様々な地域で、再エネ電力による水電解型の水素ステーションを導入することなどを通じて、段階的に装置の規模を拡大しながら、より大規模な調整力を提供可能な地産地消型のエネルギー供給モデルの展開を図っていきます

（出典：ENEOS ウェブサイト）

